

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 21 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 3 年 11 月

長浜商工会議所

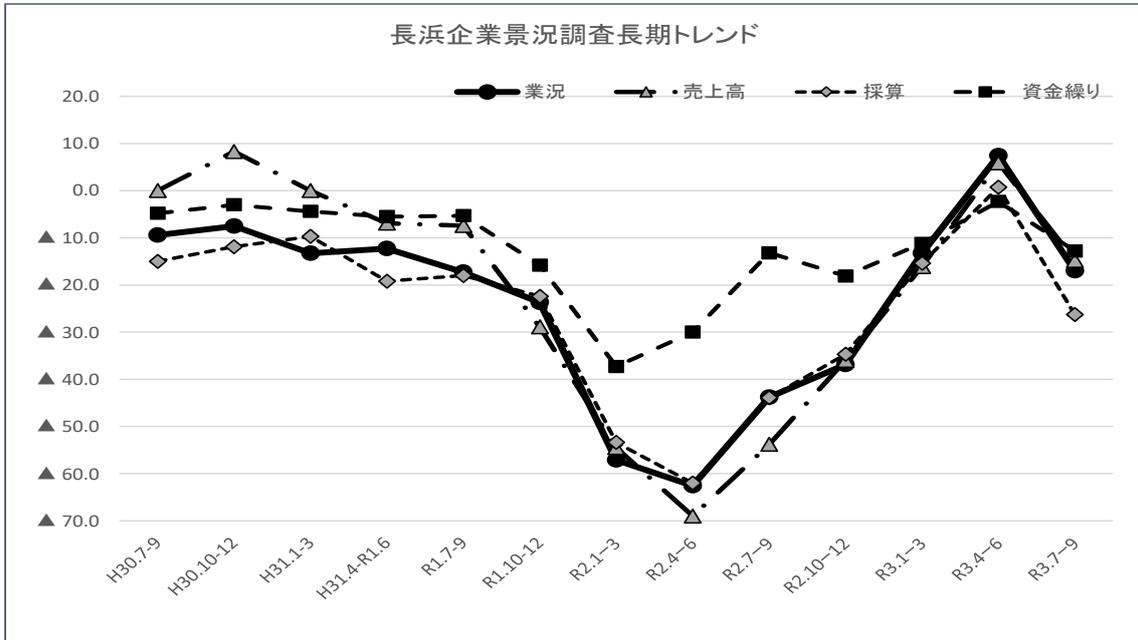
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…仕入価格D I の推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	7
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	9
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）	10
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	10
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	11
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	13

※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

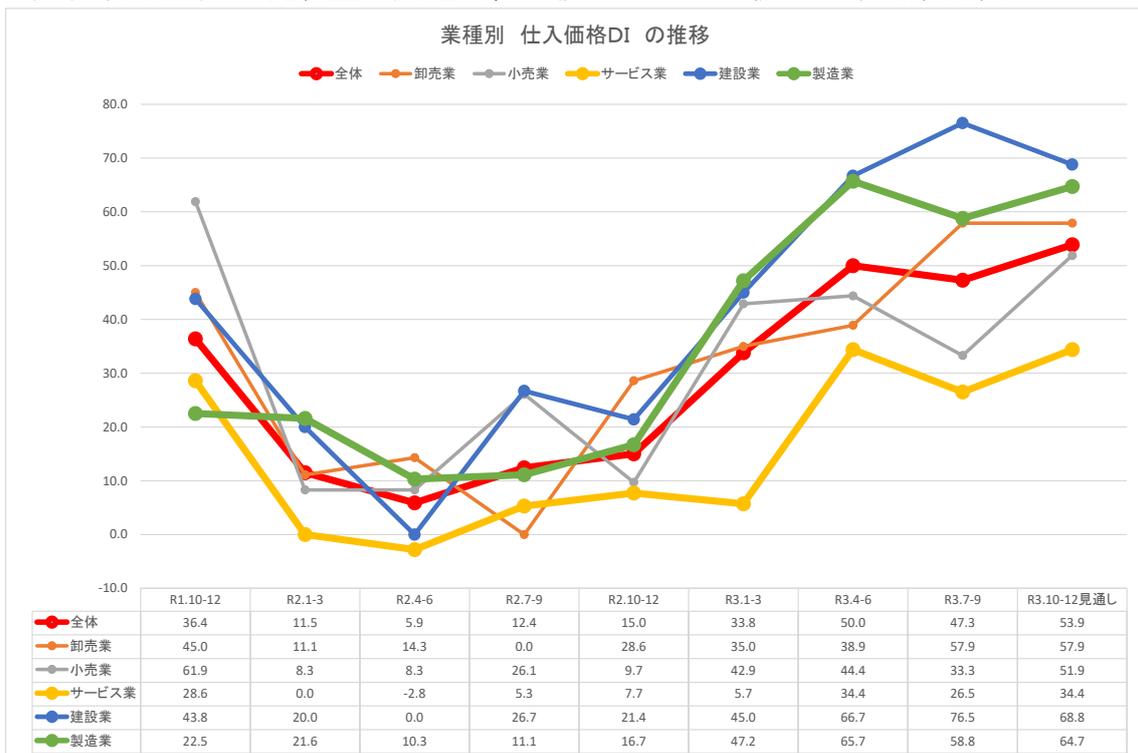
1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9
業況	▲ 9.4	▲ 7.5	▲ 13.3	▲ 12.3	▲ 17.3	▲ 23.7	▲ 57.1	▲ 62.6	▲ 43.8	▲ 36.9	▲ 13.3	7.4	▲ 17.0
売上高	0.0	8.3	0.0	▲ 6.9	▲ 7.4	▲ 28.9	▲ 54.5	▲ 69.0	▲ 53.8	▲ 36.0	▲ 16.1	5.9	▲ 14.8
採算	▲ 15.0	▲ 11.9	▲ 9.7	▲ 19.2	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 53.4	▲ 62.0	▲ 43.9	▲ 34.7	▲ 15.4	0.7	▲ 26.3
資金繰り	▲ 4.8	▲ 3.0	▲ 4.4	▲ 5.5	▲ 5.3	▲ 15.8	▲ 37.3	▲ 30.0	▲ 13.2	▲ 18.1	▲ 11.2	▲ 2.3	▲ 12.8

(2) 長浜企業景況調査…業種別仕入価格D I の推移 [前年同期比較]



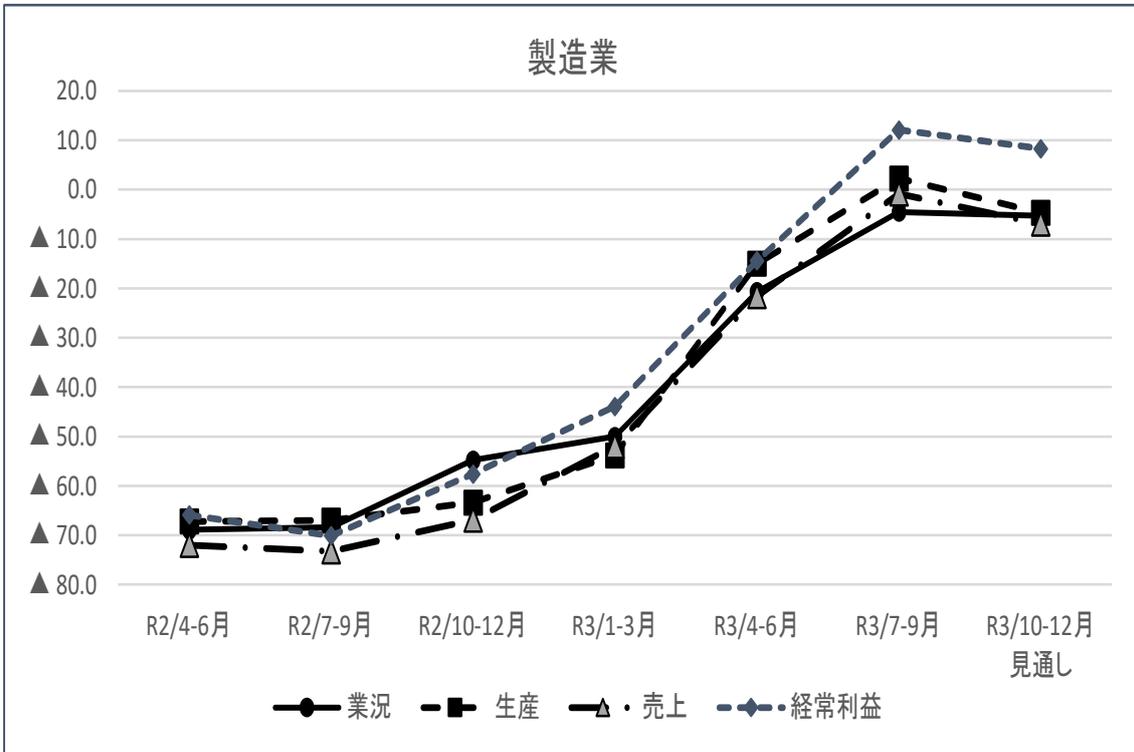
	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12見通し
全体	36.4	11.5	5.9	12.4	15.0	33.8	50.0	47.3	53.9
卸売業	45.0	11.1	14.3	0.0	28.6	35.0	38.9	57.9	57.9
小売業	61.9	8.3	8.3	26.1	9.7	42.9	44.4	33.3	51.9
サービス業	28.6	0.0	-2.8	5.3	7.7	5.7	34.4	26.5	34.4
建設業	43.8	20.0	0.0	26.7	21.4	45.0	66.7	76.5	68.8
製造業	22.5	21.6	10.3	11.1	16.7	47.2	65.7	58.8	64.7

2. 滋賀県の景況

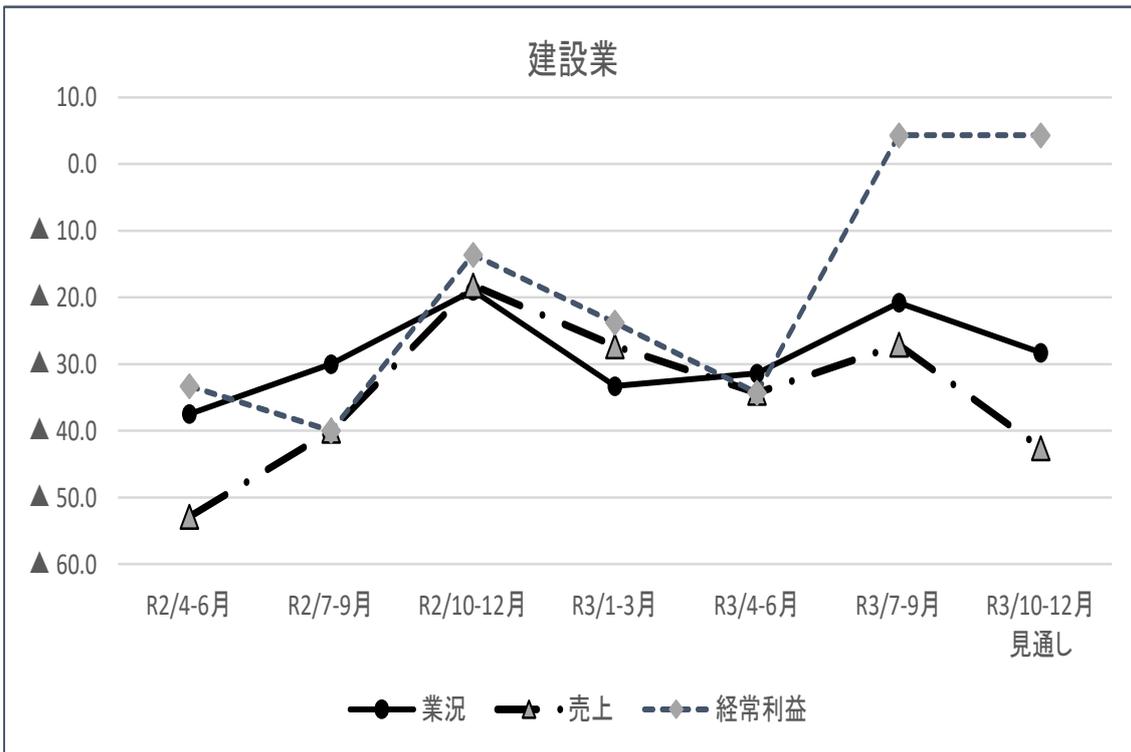
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

① 滋賀県の業種別景況動向

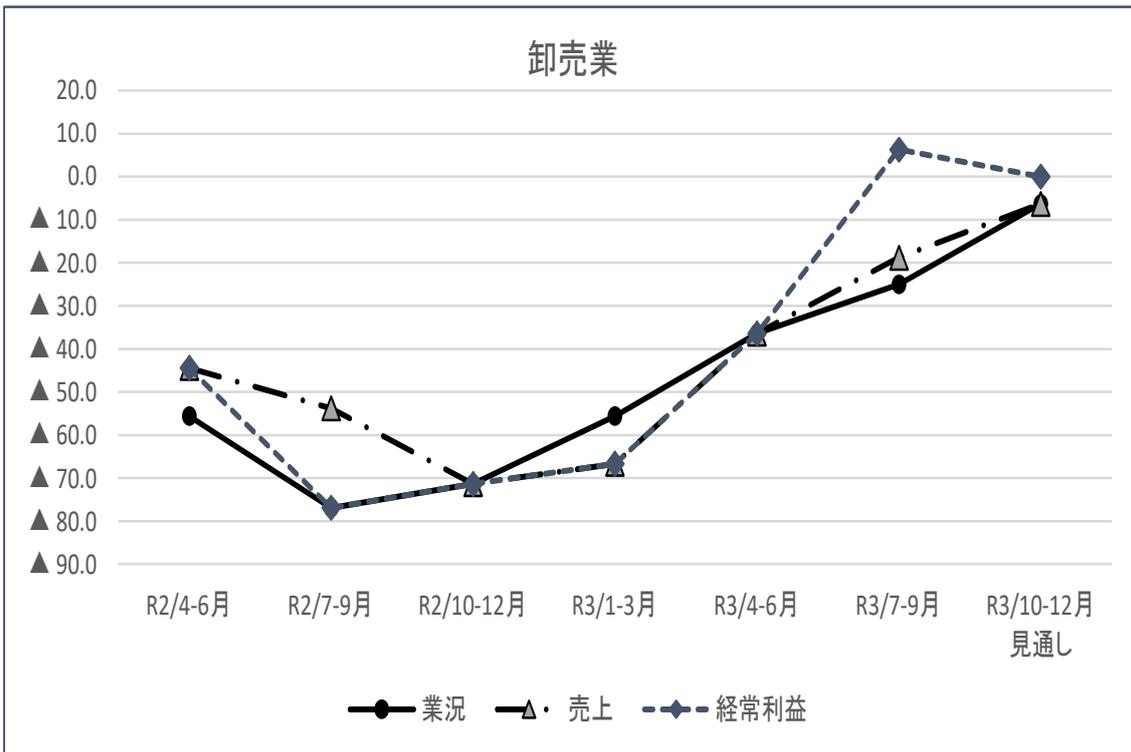
（R3/7-9月実績、R3/10-12月見通し）〔前年同期比較〕



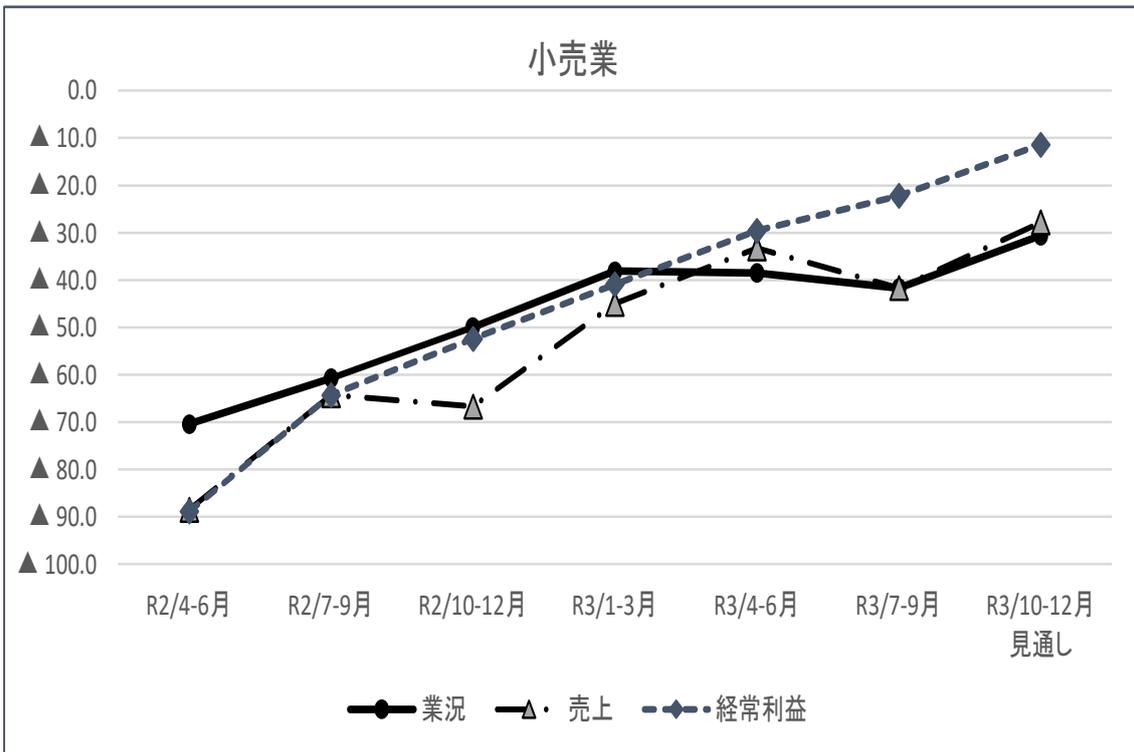
製造業	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月見通し
業況	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 5.3
生産	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	▲ 4.7
売上	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	▲ 6.9
経常利益	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	8.3
傾向	×	●	●	●	●	●	×
回答社数	134	118	126	108	140	132	132



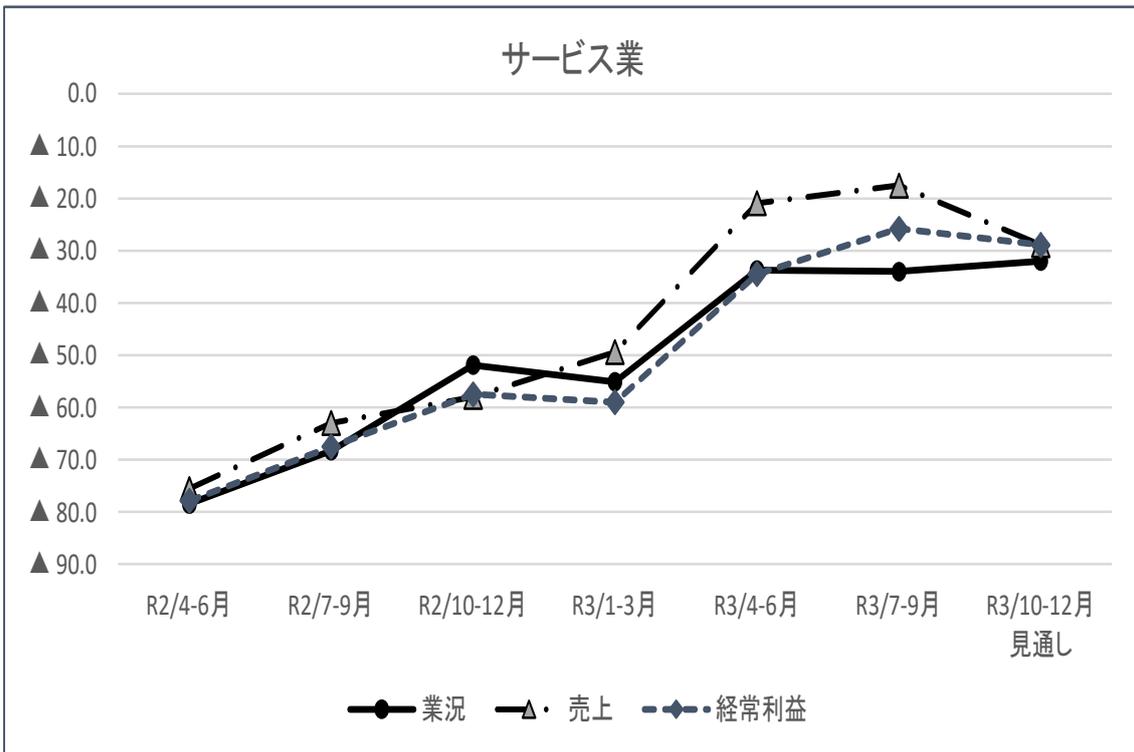
建設業	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月見通し
業況	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 28.3
売上	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 34.3	▲ 27.1	▲ 42.6
経常利益	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 34.3	4.3	4.3
傾向	●	●	●	×	●	●	×
回答社数	18	21	22	22	35	48	48



卸売業	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月 見通し
業況	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 6.3
売上	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 6.3
経常利益	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	0.0
傾向	×	×	●	●	●	●	●
回答社数	9	13	7	9	11	16	16



小売業	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月見通し
業況	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 30.6
売上	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 27.8
経常利益	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 11.4
傾向	×	●	●	●	×	×	●
回答社数	27	28	21	22	27	36	36



サービス業	R2/4-6月	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月 見通し
業況	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 32.0
売上	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 28.9
経常利益	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 28.9
傾向	×	●	●	×	●	×	●
回答社数	83	85	83	83	88	97	97

② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

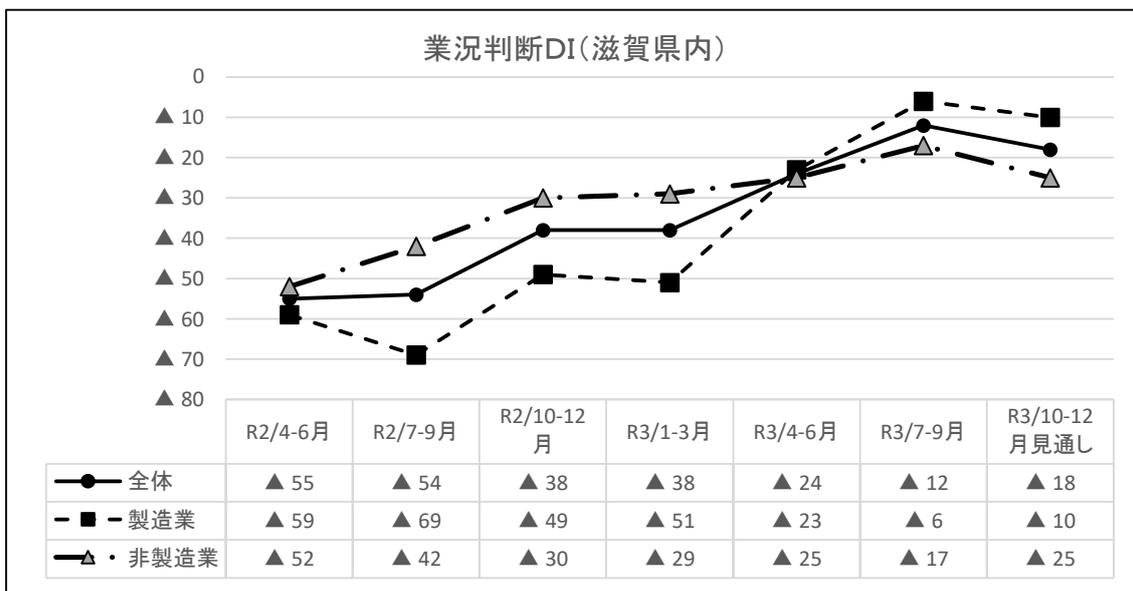
滋賀県内企業のコメント (R3/7-9月期)	
業況判断[好転]企業コメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響はあまりなかった。中国についても中国の景気で原料価格の上下はあるが大きな影響はなかった。(製造業) ・コロナ禍で「おうちごはん」が流行したためか、当社製造の炊飯鍋の依頼・需要が9月までである。(製造業) ・コロナの影響により昨年は低迷。しかし、本年7月頃より好転。正常に戻っている。(製造業) ・中国の影響で原材料価格は上下するが大きな影響はなかった。(製造業) ・主力取引先の注文が増加傾向。(製造業) 	
業況判断[悪化]企業コメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・仕入れ価格の上昇に売単価が追いついていない。(製造業) ・コロナ禍が少し影響している。(製造業) ・中国調達部品コロナによるロックダウン影響で3～4か月の遅延がある。(製造業) ・材料等の値上げで採算が悪くなる。(製造業) ・コロナの影響で受注が少なくなっている。(製造業) ・鉄鋼が手に入りにくい。(建設業) ・ウッドショックの影響有り。コロナによる消費マインド低下懸念。(建設業) ・ウッドショックにより建設資材高騰で仕事が大幅に減少。(建設業) ・コロナ、原料高騰により売上停滞中。原料が落ち着く見込みが見えない。(卸売業) ・商品の値上げラッシュ、品不足、ネット通販・競合業者の安売り等で採算悪化。(卸売業) ・売上に関しては下請け企業への発注が減少した。(サービス業) 	

(2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和3年8月ー令和3年10月)

R3/8	一部で弱さがあるものの、全体に持ち直している
<p>製造業の生産活動は回復に向けた動きから再び足踏み状態となっている。需要面では、個人消費は昨年的大幅増加の反動でマイナスとなっているものの、季節要素を除去するとプラスとなり、全体としては堅調に推移していると考えられる。投資需要では民間設備投資が引き続き伸び悩んでいるものの、住宅投資に加え、公共投資に増加傾向がみられる。この中で雇用情勢は全体に持ち直している。したがって県内景気の現状は、一部で弱さがあるものの、全体に持ち直しているとみられる。</p>	
R3/9	一部で伸び悩んでいるものの、持ち直しの動きが続いている
<p>製造業の生産活動は再び回復に向けた動きがみられる。需要面では、個人消費は昨年的大幅増加の反動でマイナスとなっているものの、季節要素を除去するとプラスとなり、全体としては比較的堅調に推移していると考えられる。投資需要では民間設備投資が引き続き伸び悩んでいるものの、住宅投資に加え、公共投資に増加傾向がみられる。この中で雇用情勢は全体に足踏み状態となっている。したがって県内景気の現状は、一部で伸び悩んでいるものの、持ち直しの動きが続いているとみられる。</p>	
R3/10	持ち直しの動きが続いているものの、足踏み状態にあるものとみられる
<p>製造業の生産活動はこれまでの回復傾向に足踏みの動きがみられる。需要面では、個人消費は新型コロナ第5波の影響で県内でも8月の月間感染者数が過去最多となるなど、大きく落ち込む結果となった。一方、投資需要では住宅投資が伸び悩んだものの、民間設備投資が増加に転じ、公共投資は増加傾向が続いている。この中で雇用情勢は全体に再び前向きな動きがみられる。したがって県内景気の現状は、持ち直しの動きが続いているものの、足踏み状態にあるものとみられる。</p>	

② 県内企業動向調査(R3/7-9月実績、R3/10-12月見通し) [前期比較]



製造業の景況感は、2四半期連続で大幅回復

	回答社数	R3/4-6月	R3/7-9月	傾向	R3/10-12月見通し
製造業	143	▲ 23	▲ 6	●	▲ 10
繊維	13	▲ 62	▲ 54	●	▲ 46
木材・木製品	7	▲ 33	▲ 14	●	▲ 43
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	10	▲ 14	▲ 10	●	▲ 11
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	10	▲ 85	▲ 60	●	▲ 40
金属製品	20	▲ 20	5	●	▲ 15
一般機械	13	▲ 18	15	●	15
電気機械	11	0	27	●	9
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	38	0	▲ 8	×	▲ 5
非製造業	166	▲ 25	▲ 17	●	▲ 25
建設	43	▲ 6	▲ 14	×	▲ 30
不動産	11	23	36	●	36
卸売	30	▲ 44	▲ 40	●	▲ 41
小売	20	▲ 57	▲ 25	●	▲ 20
運輸・通信	12	▲ 50	8	●	▲ 8
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	33	▲ 26	▲ 30	×	▲ 31
リース	-	-	-	-	-
その他	12	▲ 25	0	●	▲ 25

③ 県内経済概況「県内景気天気図」

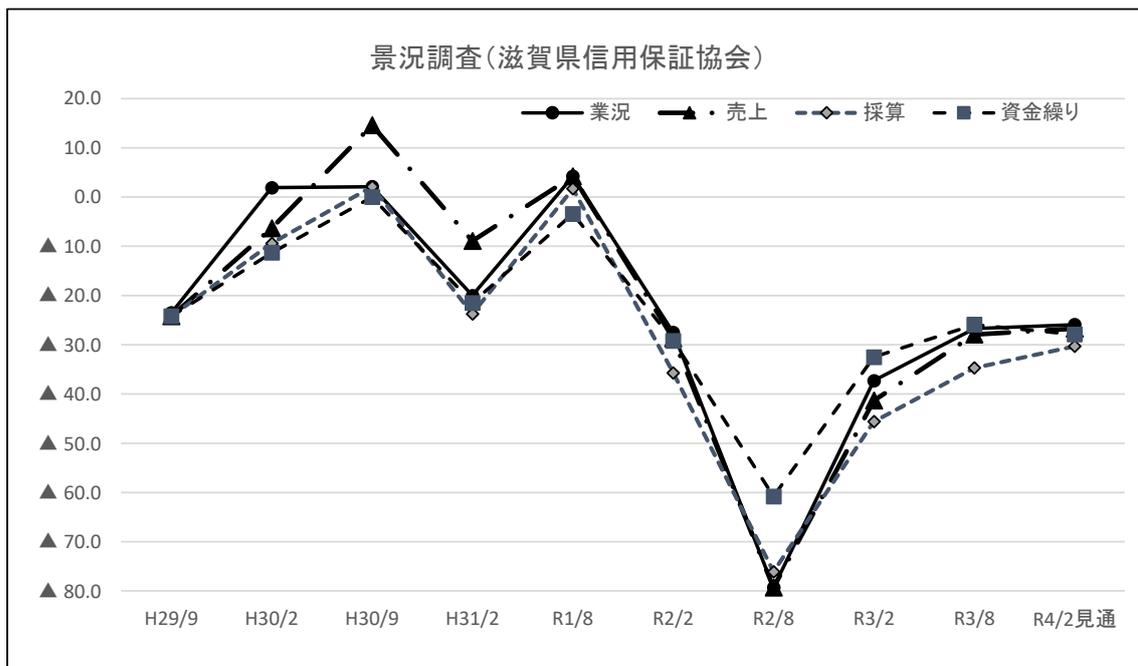
県内景気天気図	R3/4	R3/5	R3/6	R3/7	R3/8	R3/9
現在の景気	▲	●	▲	▲	▲	×
3か月後の景気	●	●	▲	▲	▲	▲
生産活動	×	●	×	▲	▲	×
個人消費	▲	▲	▲	▲	▲	×
民間設備投資	▲	●	×	▲	▲	●
住宅投資	●	▲	▲	●	●	×
公共投資	▲	●	▲	●	●	●
雇用情勢	●	▲	▲	▲	×	●

* 前期比 ▲は横ばい、●は好転、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R3/8)

実施内容	調査時期：令和3年8月		調査方法：無記名アンケート方式			
		配布数：500	回答数：251	回答率：50.2%		
業種構成	建設業	23.5%	製造業	19.1%	サービス業	16.7%
	小売業	15.9%	不動産業	8.8%	運輸通信業	6.0%
	卸売業	4.8%	その他	4.4%		
従業員規模	5人以下：43.4%	6～20人：32.3%	21人以上：24.3%			



3. 近畿の景況

(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）

令和3年8月

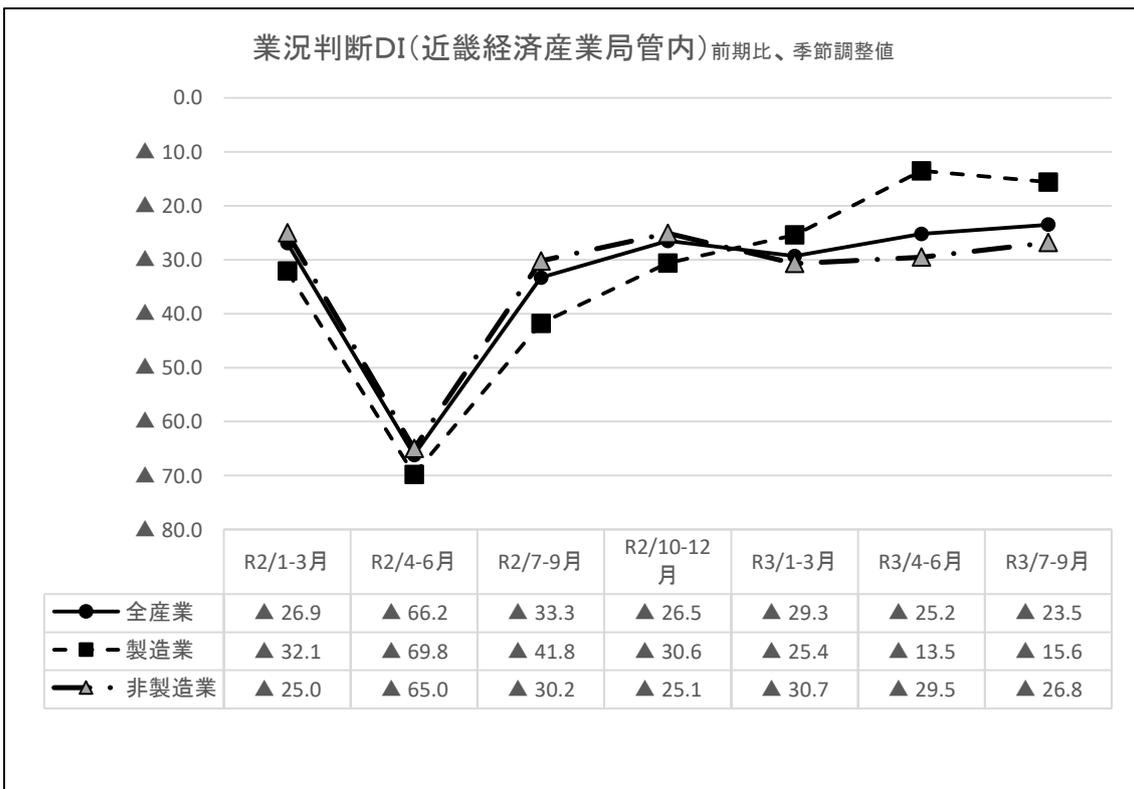
近畿地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断 DI [前期比較]

① 業種別業況判断 DI



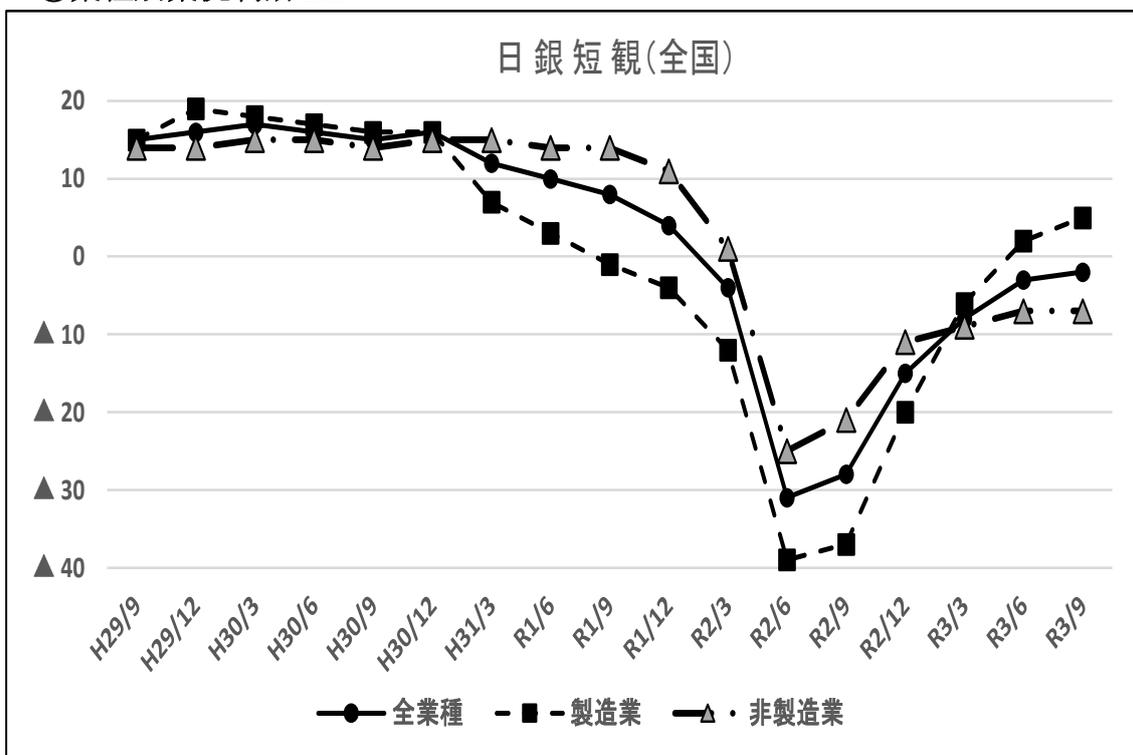
4. 全国の景況

(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

①概況

- ・大企業・製造業は+18（前期比 4 ポイント改善）で、IT（情報技術）需要が後押しし「生産用機械」「業務用機械」が伸び「電気機械」「はん用機械」も水準を維持した。一方、東南アジアの感染拡大による半導体部品の供給制約で「自動車」は+3 とプラスを維持するも 10 ポイント悪化した。
- ・大企業・非製造業は+2（前期比 1 ポイント改善）と小幅な改善にとどまった。オリンピック・パラリンピックの警備需要などで「対事業所サービス」が+38 と 12 ポイント改善した。一方、緊急事態宣言が影響し、「対個人サービス」は▲45 と 14 ポイント悪化、「宿泊・飲食サービス」は▲74 と前期と同水準で依然厳しい状況が続いている。

②業種別業況判断 DI



③設備投資計画（含む土地投資額）

設備投資計画（含む土地投資額）は、20年度に実行できなかった設備投資の持越し、アフターコロナに適應するための設備投資などから、21年度の計画は、規模や業種にかかわらず前年度より高まっている。9月調査では中小企業の計画が強まっている。

投資内容別に見ると、土地投資額は大企業・製造業において強まりをみせている。ソフトウェア投資額は中小企業・製造業において、研究開発投資は中小企業・非製造業において顕著な高まりがみられる。

設備投資計画 (含む土地投資額)		2020年度	2021年度（計画）		
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査
大企業	製造業	-8.8	3.2	13.3	13.3
	非製造業	-8.1	2.9	7.4	8.2
中小企業	製造業	-12.4	-1.1	2.3	6.4
	非製造業	-6.3	-7.9	0.2	3.8

*含む土地投資額、除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

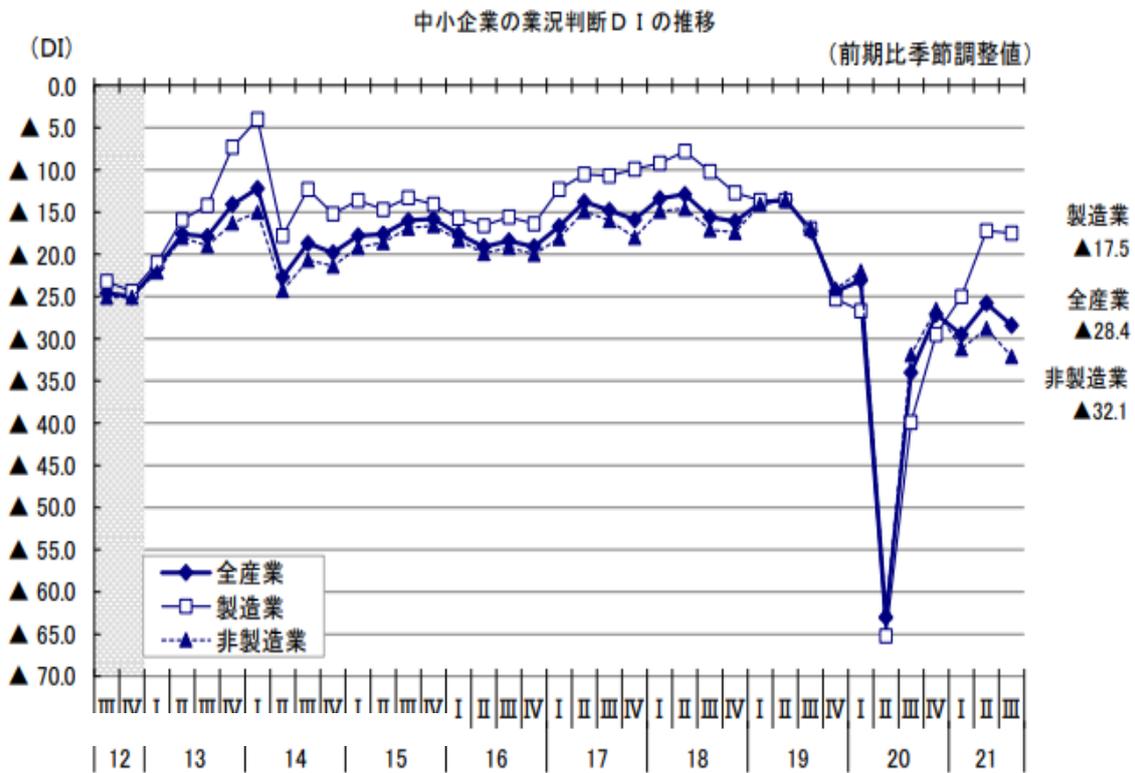
土地投資額		2020年度	2021年度（計画）		
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査
大企業	製造業	-4.8	-28.2	-9.1	14.5
	非製造業	31.2	-6.2	-18.2	-15.7
中小企業	製造業	-16.3	-52.6	-40.3	-46.3
	非製造業	18.9	-21.3	-17.7	-6.0

ソフトウェア投資額		2020年度	2021年度（計画）		
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査
大企業	製造業	-4.5	8.4	21.7	22.6
	非製造業	-9.5	4.3	10.2	7.7
中小企業	製造業	-22.0	17.9	44.6	57.4
	非製造業	-9.5	-4.4	10.3	15.2

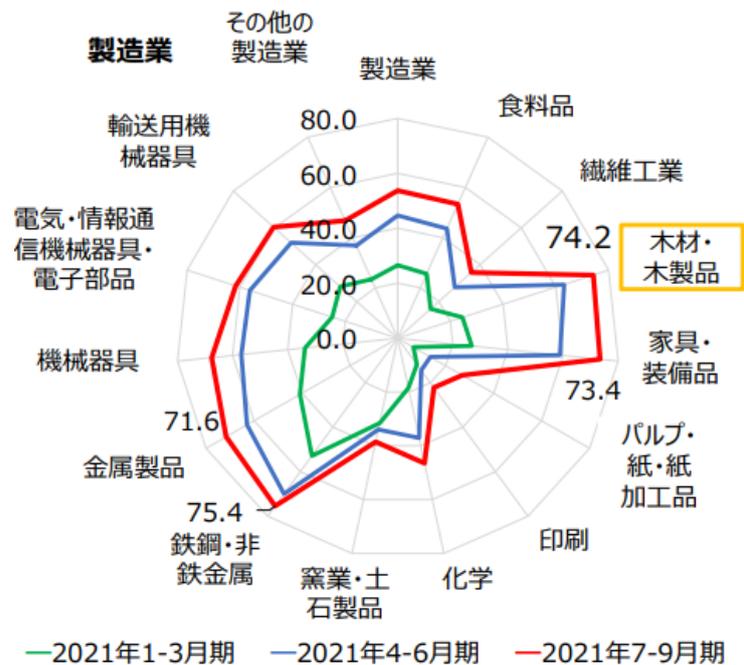
研究開発投資額		2020年度	2021年度（計画）		
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査
大企業	製造業	-5.6	1.6	6.6	5.4
	非製造業	0.3	1.7	4.6	6.8
中小企業	製造業	-2.6	7.7	10.5	7.4
	非製造業	0.5	19.0	52.0	54.5

(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

①業種別業況判断 DI



②トピックス：製造業 14 業種の原材料・商品仕入単価 DI



(中小企業診断士 川副 郷一郎)